

## 有機農産物生産行程管理者認証申請書（別冊）

有機農産物の生産において、外注がありますので、関係書類を添付します。

## [関係書類]

番号	書 類 名	書類 記号	確認欄
1	外注先施設一覧表	外-1	<input type="checkbox"/>
2	外注先施設毎図面	外-2	<input type="checkbox"/>
3	外注先で使用している資材リスト	外-3	<input type="checkbox"/>
4	外注先で使用している使用機械・器具リスト	外-4	<input type="checkbox"/>
5	外注工程	外-5	<input type="checkbox"/>
6	委託契約書	—	<input type="checkbox"/>

## 外注先施設等一覧表

※外注している工程に使用する全ての施設を記入してください。

※用途例：堆肥作り、育苗、機械倉庫、保管（冷蔵・貯蔵等）、調整（袋詰め、洗い、カット等）、格付、籾摺精米、荒茶製造など

施設番号	施設名称	施設住所	面積	用途	使用形態	清掃方法
外			m <sup>2</sup>		<input type="checkbox"/> 有機専用 <input type="checkbox"/> 慣行併用	
外			m <sup>2</sup>		<input type="checkbox"/> 有機専用 <input type="checkbox"/> 慣行併用	
外			m <sup>2</sup>		<input type="checkbox"/> 有機専用 <input type="checkbox"/> 慣行併用	
外			m <sup>2</sup>		<input type="checkbox"/> 有機専用 <input type="checkbox"/> 慣行併用	
外			m <sup>2</sup>		<input type="checkbox"/> 有機専用 <input type="checkbox"/> 慣行併用	
外			m <sup>2</sup>		<input type="checkbox"/> 有機専用 <input type="checkbox"/> 慣行併用	
外			m <sup>2</sup>		<input type="checkbox"/> 有機専用 <input type="checkbox"/> 慣行併用	

## 外注先施設毎図面

施設名称	<input type="checkbox"/> 有機専用 ・ <input type="checkbox"/> 慣行併用	施設番号
------	---	------

- ※1 施設内の設備や機械などの位置、内部状況が分かるように記入すること。  
2 慣行併用の場合は、区分状況が分かるように記入すること。  
3 大きさ 縦 (m) × 横 (m) を記入すること。

「生産・保管に係る施設毎図面（育苗施設以外）」と同じように記入する。

## 外注先で使用している資材リスト

## 1 肥料及び土壌改良資材 ※資材証明書の添付が必要です。

肥料又は土壌改良 資材の名称	製者名	使用目的	証明書 の有無	保管している 資材証明書の 証明年月日
			有・無	年 月 日
			有・無	年 月 日
			有・無	年 月 日
			有・無	年 月 日
			有・無	年 月 日
			有・無	年 月 日

## 2 農薬

農薬名称	農薬の種類	製造者名	使用目的 (対象作物・対象病害虫)

## 3 調整用等資材 ※資材証明書の添付が必要です。

調整用等資材の 名称	製造者名	使用目的	証明書 の有無	保管している 資材証明書の 証明年月日
			有・無	年 月 日
			有・無	年 月 日
			有・無	年 月 日

## 4 施設資材・被覆資材など

資材名	使用状況	使用後の処分方法	備考



## 外注工程

※外注先毎に場所・施設や資材・機械・器具などを明確に記入してください。

品 目 ※					
順番	作業工程	場所・施設	資材・機械・器具	担当者	混合・汚染防止策 使用薬剤など

# 委託契約書

(委託者氏名) \_\_\_\_\_ (以下「甲」という。) と (受託者氏名) \_\_\_\_\_ (以下「乙」という。) は甲の有機農産物の生産工程の一部の外注について次の通り契約を締結する。

第1条 甲は、委託した工程において生じた異常等に関する処置又は指導を行い、乙は甲の処置又は指導に従う。

第2条 乙は、委託された工程を有機農産物・有機飼料の日本農林規格ならびに有機農産物・有機飼料についての生産行程管理者の認証の技術基準に基づいておこなう。

第3条 乙は、受託した工程で使用する施設及び機械器具を特定し、汚染防止策及び非有機農産物の混合防止策を講じる。

2 甲は、前項の対策について書類及び実地で調査及び確認をすることができる。

第4条 甲が乙に委託する品目及び工程は、下記のとおりとする。

委託を行う品目： \_\_\_\_\_

委託を行う工程： \_\_\_\_\_

第5条 本契約における外注は、 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日から \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日までとする。ただし、本契約期間満了時において、契約を継続しない場合は、相手方に対し、本契約期間満了の1ヶ月前までに通知するものとする。本通知がなされない場合は、本契約は、同一の条件でさらに1年間自動更新されるものとし、その後も同様とする。

第6条 本契約に定めのない事項及び本契約の条項に関し疑義が生じたときは、甲乙誠意を持って協議し、これを解決する。

本契約締結の証として本書2通を作成し、甲乙記名押印の上、各1通を保有する。

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

甲（委託者） 住 所 \_\_\_\_\_  
氏 名 \_\_\_\_\_ (印)

乙（受託者） 住 所 \_\_\_\_\_  
氏 名 \_\_\_\_\_ (印)